

11月3日(火・祝)から国立国際美術館(大阪市)で、英国が誇る世界屈指の美の殿堂「ロンドン・ナショナル・ギャラリー展」が開催されます。初来日したゴッホの《ひまわり》は61作品の名作の中でも目玉の作品です。

ゴッホの《ひまわり》は、かつての芦屋にも存在していましたが、今では幻の作品。「芦屋」「ゴッホ幻の作品」「ひまわり」一見関係の無さそうなこの言葉には震災や戦争に翻弄された物語があったのです。



ゴッホ「自画像」
大塚国際美術館の展示作品を撮影



ゴッホの『向日葵』の前で(昭和13年ごろ)
山本願彌太(左)と武者小路実篤(右)
調布市武者小路実篤記念館所蔵



ゴッホの作品「花瓶にさされたひまわり」の油絵は全部で7点制作されており、濃紺の背景が特徴的な芦屋の《ひまわり》は、2番目に描かれたといわれている。他のものとは違い、鮮やかな色彩、平面的な色の使い方など浮世絵の影響を受けた作品になっている。

大塚国際美術館で2014年に原寸大の陶板で再現された芦屋の《ヒマワリ》
大塚国際美術館の展示作品を撮影

戦火に散った《ひまわり》

山本願彌太の邸宅は打出小槌町にありました。戦争の足音が近づくなか、山本は空襲から《ひまわり》を守るために、安全な場所への避難を模索します。しかし、それが叶うことはなく《ひまわり》は応接室のソファの上に飾られたまま、その時はやってきました。

1945(昭和20)年8月5日深夜から6日未明、約130機のB29が芦屋の上空から投下した焼夷弾は、非情にも多くの建物を焼きつくし、山本の邸宅も全焼しました。この空襲は、「阪神大空襲」と呼ばれ芦屋を含む阪神地域に壊滅的な被害を与えました。辺り一面が火の海と化し、猛烈な熱風のなか大切に飾られていた《ひまわり》はこの空襲により、はかなくも散ってしまったのです。

終戦を迎える9日前の出来事でした。

焼失する前の芦屋の《ひまわり》を展覧会で鑑賞した吉原治良や小出楯重の感動が、当時の雑誌に残されています。

前衛画家・吉原治良

“向日葵中での最傑作ではなからうかとも思えるのである。僕はこの画の前に立つて体のふるえる程感動した。大げさに云ふようだが僕が今日迄画の方向に深入りをした理由の一つは、この画によって画の深さと高さを教えられたからだ。” 『アシア芸術』創刊号より抜粋

洋画家・小出楯重

“恐らく日本に来たゴーグ(ゴッホ)のものの中では最も優秀な又、大作であります。” 『週刊朝日』大正13年11月23日より抜粋

阪神間モダニズムが開花した時代に、ゴッホの《ひまわり》は確かに芦屋の地で花を咲かせていました。

この《ひまわり》をもう見ることはできませんが、皆さんの記憶に残る限り、芦屋の《ひまわり》はこれからも咲き続けるに違いありません。

芦屋の《ひまわり》が皆さんの心の中で、
いつまでも咲き続けますように

大塚国際美術館

西洋美術を代表する名画1,000余点を陶板で原寸大に再現する、陶板名画美術館です。開館20周年事業(2018年3月)としてゴッホが描いた「ヒマワリ」全7点を再現し、一堂に展示。



大塚国際美術館の展示作品を撮影

阪神大空襲で焼失した幻の「ヒマワリ」をはじめ世界各地に点在する「ヒマワリ」を一堂に鑑賞することができる展示室は圧巻です。(美術館スタッフの解説)

午前9時30分～午後5時・月曜休館(祝日の場合は翌日)
〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦福池65-1(鳴門公園内)
☎088-687-3737

ロンドン・ナショナル・ギャラリー展

世界初開催！全61作品日本初公開

■会期 11月3日(火・祝)～2021年1月31日(日)
■会場 国立国際美術館【大阪・中之島】

MASTERPIECES FROM
NATIONAL
GALLERY
LONDON
ロンドン・ナショナル・ギャラリー展

国立国際美術館(大阪・中之島)

「ロンドン・ナショナル・ギャラリー展」ペアチケットプレゼント(5組10名様)

■申し込み はがきに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入のうえ下記へ
11月30日(消印有効)※当選発表は招待券の発送(12月中)をもってかえさせていただきます
■事務局応募宛先 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-7-7-8F
TMオフィス内「ロンドン・ナショナル・ギャラリー展」招待券(広報あしや)係

※本展は日時指定制ですが、無料観覧券をお持ちの方は、会期中どの日時でもご入場いただけます。ただし、混雑状況により入場までお待ちいただく場合、もしくは当日の入場可能人数に達したため、入場いただけない場合がございます。無料観覧券をお持ちの方向けの日時指定券は販売いたしません。



開館時間・休館日等詳細は、公式ホームページへ